【宮城県トレセン　コロナウィルス感染症予防対策について】(7/31 時点)

宮城県サッカー協会技術委員会

※以下内容は、今後の政府や県の対応によって変更する場合があります。

活動における前提

① 感染者が発生した場合に備え、選手・指導者・送迎者の名簿を整理(体温、健康状態を記録したもの)し、１ヶ月保存する。

② 各カテゴリー及び地区トレセンにおいて活動の際に感染対策責任者を設け、以下事項について対応を図るとともに周知徹底をする。さらに、感染者が出た場合など、本協会技術委員会感染対策責任者(以下参照)と連絡調整を行う。

③ 選手の参加については、個人の意思を尊重し、出席状況が選考基準にならないように配慮する。

（１）参加者全員に対して

① 当日の健康チェックを行い、以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる。

- 体調が優れない（例：発熱、咳、咽喉痛等の症状)。
- 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

② 学校などで行っている健康観察を写真などで確認できる状態で持参してもらう。

③ 参加者全員がマスクを着用する(選手のみプレー中は外すことが可)。

（２）選手に対して

① 受付時に健康チェックを行い、アルコール消毒を行う。

② ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。

③ 口に含んだ水を吐かない。

④ ボトルを共有しない。

⑤ ピッチ上で会話をする際は、距離をおく。

（３）保護者に対して

① 受付で選手に送迎者の氏名を確認する。

② 見学時に密にならないように、周囲と２ｍ以上距離をとる。

（４）指導者に対して

① 当日の体温、健康チェックを行い、発熱や体調が悪い場合は無理に参加しない。

② ピッチ上で選手にコーチングする際は、マスクを外さない。

（５）会場における感染症予防対策

① 用具の併用を避け、使用後は消毒を行う。

② 着替え等はロッカールームを使用せず、外で行い密にならないように間隔をあける。

感染対策責任者
宮城県サッカー協会技術委員会
ユースダイレクター　千葉　拡